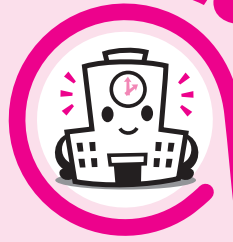


# つながる



## 学校と家庭の学び

# 保護者からの声掛けを増やし 子どもの表現力を伸ばす

### 奈良県大淀町立大淀希望ヶ丘小学校

大淀町立大淀希望ヶ丘小学校では、子どものコミュニケーション能力を伸ばすための取り組みに力を入れている。保護者にも、「週1回、子どもと一緒に風呂に入る」などの4つの活動を提案し、子どもと話をする機会を増やしてほしいと協力を呼び掛けた。その結果、言葉による子どもの表現力が高まっているという。

### 家庭での会話を増やす

#### 「家庭と学校協働プロジェクト」

大淀町立大淀希望ヶ丘小学校は、奈良県中西部の住宅地に位置する。子どもは人懐こく元気で、友だち同士の仲も良い。ただ、コミュニケーションには課題があり、「好き」「要らない」といった単語を並べるだけで、主語・述語がそろった文を話さない傾向が見られた。友だちと意思をうまく疎通できずに、ささいなことが原因で相手を傷付けるようなこともあったという。

そこで、数年前に、子どもの言葉

による表現力を伸ばすための活動に力を入れ始めた。授業で言語活動に取り組みだけでなく、家庭にも協力を呼び掛けている。そのねらいを、春名久雄校長は次のように話す。

「大人が先回りして子どもの言いたいことをくみ取ってしまうため、子どもの語いが貧弱になってしまっているのだと思います。そこで、家庭で会話をする機会や内容を充実させ、しっかりと言葉のキャッチボールが出来るようにしたいと考えました」  
2009年度には、「家庭と学校

協働プロジェクト」を始めた。これ

は、保護者と子どものコミュニケーションを増やそうという取り組みで、次の4つの柱がある。

#### ①親子でお風呂入る

週に1回、保護者が子どもと一緒に風呂に入る。

#### ②食事時の会話を楽しもう

家族がそろって食事をする機会を多くし、食事中はテレビを消す。

#### ③本読み時間を増やそう

家庭で一緒に本を読む時間を増やそう。保護者が読み聞かせをする、同じ時間にそれぞれが別の本を読む

ど、読書のスタイルは問わない。

#### ④家の仕事をしっかりしよう

子どもが家庭で役割を担えるように、家庭のルールをつくる。子どもに責任感を持たせようと、「手伝い」ではなく「仕事」と呼ぶことにした。

プロジェクトを始めた当初から、学校は保護者の理解を得ようと、PTAの会合や学校だよりなどで4つの活動の目的を繰り返し説明した。その結果、12年度には、4つのうちのいずれかに取り組む家庭が8割以上を占めるようになった。  
山本勝徳教頭は、家庭との連携に

は学校から積極的に情報発信していくことが不可欠だと話す。

「学校がプロジェクトを通して子どもにどのような力を付けさせたいかを常に伝えてこそ、保護者の信頼を得られます。そうすれば、取り組みの意図に共感し、協力してくれる保護者も増えると考えています」

## 「GO!GO!シート」を再構成 子どもの振り返り活動に活用

12年度は、子どもが自分の行動を振り返り、今後の改善点などを言葉で表現する活動を始めた。月1回、「振り返りカード」に、「掃除をしつかりする」などの毎月の学校目標をどの程度達成できたか、達成できていなければその理由などを書く。

6年生では、長期間の振り返りにも取り組もうと、「GO!GO!シート」(図1)を活用している。これは、子ども自身が5年生の1年間を振り返り、6年生の目標を決めるためのシートで、表に「5年生のふり返し」「生活・お手伝い」「勉強」「運動」「読書」について頑張ったこと、裏に「6年生に向けてのがんばり宣言」などを記入する。

「GO!GO!シート」は4月に

子どもが書き、担任が回収。当初は3月の卒業時まで保管するつもりだったが、あえて11月に、いったん子どもに返却した。この理由を6学年担任の片山純先生は次のように話す。

「自分で立てた目標であっても、次第に忘れてしまうものです。自分がどのような気持ちで6年生になったのかを、改めて思い出してほしいと思いました。運動会や修学旅行などの大きな行事が終わった直後である11月は、子どもの気が抜けやすい時期です。そうした時期に、年度当初に立てた目標を見直し、出来たことを認めたり、出来ていない理由を考えたたりすることで、子どものやる気を高めたいと考えました」

ここでは、片山先生が作成した「GO!GO!振り返りカード」(P.30 図2)を新たに配布。

子どもは、4月から11月までに「がんばったこと」「もう少しがんばりたいと思うこと」「卒業に向けてのがんばり宣言」、4月に立てた目標の現在までの達成度合いなどを記入する。

「自分の目標をただ再確認するだけでなく、卒業するま

### 奈良県大淀町立大淀希望ヶ丘小学校

©2006(平成18)年、3つの小学校が統合して開校。公民館での通学合宿、読書ボランティアによる読み聞かせなど、地域と連携した取り組みに力を入れている。

校長 春名久雄先生  
児童数 345人  
学級数 17学級(うち特別支援学級5)  
所在地 〒639-3125  
奈良県吉野郡大淀町北野 54-1  
TEL 0746-32-1290  
URL <http://www.town.oyodo.nara.jp/shisetsu/school/kibou.html>



大淀町立大淀希望ヶ丘小学校校長

#### 春名久雄

はるな・ひさお

「努力する喜びを知る子ども、いわば一生懸命を楽しめる子どもを育てたい」



大淀町立大淀希望ヶ丘小学校教頭

#### 山本勝徳

やまもと・かつのり

「子ども、保護者、地域の人たちと、常に誠心誠意向き合っていきたい」



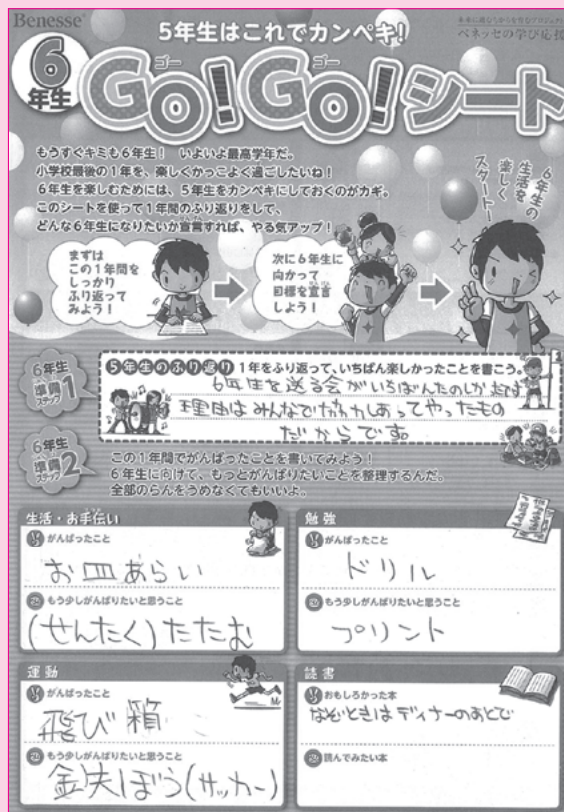
大淀町立大淀希望ヶ丘小学校

#### 片山 純

かたやま・じゅん

6学年担任。「子どもの気持ちを思いやり、内に秘めた長所を伸ばせる教師でありたい」

図1 GO!GO!シート(6年生用 表) ※「ベネッセの学び応援」が無償提供

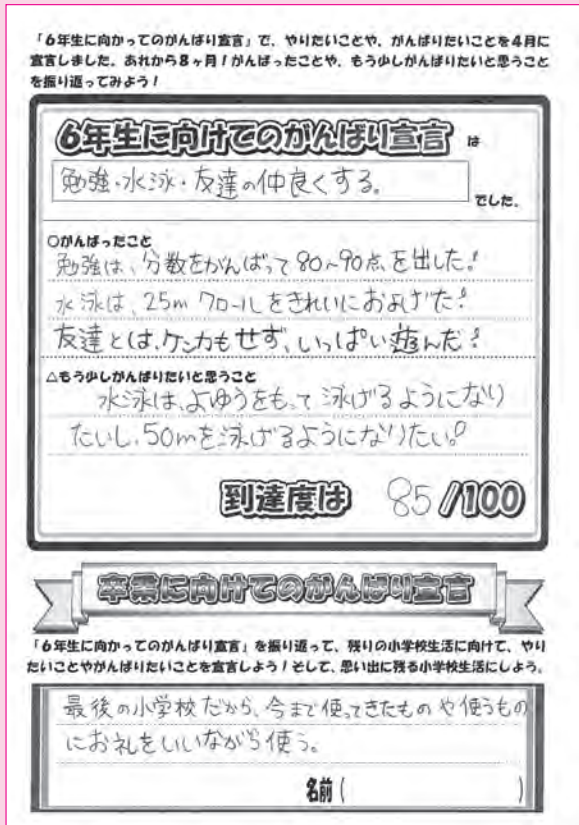


\*同校の資料をそのまま掲載

\*図は2011年度にご提供のものです。2012年度のものは、異なる名称・デザインとなります

本シートは、5年生の終わりに、子どもが6年生になってからの自分の目標を決めることを意図して提供していたが、同校では、これをアレンジして活用。6年生が4月にこれからの1年間の目標を決めるために用いた

図2 GO!GO!振り返りカード(裏) ※片山先生が作成



\*同校の資料からイラストを削除して掲載

「GO!GO!シート」を書いてから7か月後、「GO!GO!シート」に書いた目標がどの程度達成できているかを子ども自身が振り返り、卒業までの目標を改めて立てるためのカード。表裏両面から成り、表には「勉強」「運動」「読書」について自分の頑張りを評価する欄、裏には「卒業に向けてのがんばり宣言」を書く欄などがある

での期間をどのように過ごせば達成できるかを思い描かせようと考えました。下級生への気配りなど、自分の枠を広げる努力をして、小学校生活の最後の期間を充実させてほしいという思いもあります(片山先生)

「GO!GO!振り返りカード」は「GO!GO!シート」と一緒に担任が回収。3月に小学校の集大成となる振り返りを行う予定だ。

### 子どものモチベーションは保護者の声掛けで高まる

子どもの振り返り活動でも家庭との連携を重視。「GO!GO!シート」の実施に当たっては、学級通信などで保護者に声掛けを呼び掛けた。「保護者から頑張りを認められれば、子どもの自己肯定感が高まり、おのずと目標に対するモチベーション

ンも上がると思います。1年間という長い期間の目標を達成させるためにも、家庭での協力をお願いしました(片山先生)

保護者からの働き掛けもあり、11月時点で目標を5〜8割達成した子どもが多かった。目標達成度が低い子どもも、今の自分と照らし合わせれば、卒業に向けての目標を立てた。

子どもの言葉による表現力にも変化が見られる。自分が頑張ったことについて、4月の「GO!GO!シート」では「水泳」などと単語だけの記述だったものが、11月の「GO!GO!振り返りカード」では、「25mをクロールできれいに泳げるようになった」というように、頑張った成果を自分の言葉で表現できるようになった。

春名校長は、今後について次のように話す。

「学校も保護者も、子どもの力を伸ばしたいと思っています。目指すものは同じなのですから、双方が力を合わせて取り組めば、成果は大きくなるはず。これからも保護者との信頼関係を深め、学校と家庭の両面から子どもの成長を支えていきたいと思っています」

## 2~3月の進級・進学前に授業や保護者会で使える教材、冊子を無料でご提供します

ベネッセは2007年度から「家庭学習に関する冊子」などを先生方やご家庭に無料で提供する「学び応援プロジェクト」を実施しております。2011年度は、のべ約15,000校から約110万冊もの申し込みをいただきました。

2012年度は、各学年個別に、1年間を振り返って次の学年への意欲を向上させる冊子などを無料でご提供いたします。1年生向けには、保護者会で活用いただける保護者の方向けの情報をご用意いたしました。ただ今、申し込み受付中です。詳しくは本誌同送のチラシをご覧ください。ぜひ貴校の教育活動にお役立てください。

学校&家庭 学び応援プロジェクトホームページ <http://www.benesse.co.jp/manabiouen/>

未来に進むちからを育むプロジェクト。  
ベネッセの学び応援

お申し込み  
締め切り

2013年  
2/28

木